

専門家によるドブネズミの 説明会と訪問指導を 行いました

9月13日と14日の2日間、ネズミ駆除の専門業者であるイカリ消毒株式会社によるドブネズミ対策の説明会と、各戸を訪問して家庭でできる駆除方法などの指導を行っていただきました。訪問先では、被害状況を確認して効果的な駆除方法のアドバイスや、ネズミの侵入口を発見するなど、貴重な機会となりました。指導にあたった谷川技術所長からは、ネズミの問題は住民それぞれが取り組まないと解決はむずかしく、地域が一体となって取り組むことが重要であることを教えていただきました。



天売猫だより

第3号

発行 / 「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
発行日 / 平成28年10月13日



今号は、ドブネズミ対策について特集します！

昨年は秋から冬にかけてドブネズミによる被害が例年と比べ、拡大しました。今年もドブネズミ被害発生のシーズンを迎えており、今号ではドブネズミの被害を減らすための対策について、特集します。



ドブネズミによる 被害に注意！

毎年、秋から冬にかけてドブネズミの被害が増えます。寒くなるこの季節、野外にいたドブネズミが餌を探すために屋内に侵入してくるためと思われます。昨年は特にドブネズミの目撃や被害が例年と比べて拡大しました。屋内への侵入や干してある干物をかじる、発泡スチロールを破って魚を食べる他、ロープを伝って漁船に入るなど、漁業被害や住居被害が確認されました。またドブネズミは海鳥の繁殖にも影響を及ぼす可能性があります。今年も同様の被害が出ないためにも、ドブネズミの事をよく知り、効果的な対策を行うことが必要です。



生ごみ堆肥を 処理しました

長年堆積され、ドブネズミの生息場所となっていた生ごみ堆肥を全て処分しました。各家庭においても食料や生ごみをきちんと管理して、ネズミを増やさない、被害を受けない対策にご協力をお願いします。
※ 搬出作業はおらが島活性化会議やインターンの学生に協力いただきました。



【インタビュー】

一般社団法人
天売島おらが島活性化会議
代表理事 斉藤 暢氏

私が代表を務める「おらが島活性化会議」という地域おこしを目的とした団体で天売ネコの捕獲業務に関わっております。はじめの頃は海鳥保護のためにネコは悪者扱いされるイメージが強かったのですが、この取り組みに関わっていくうちに実はネコが幸せに暮らすためにも人間が責任を持つ事が大事なだと気づく事ができました。ネコを排除するのではなくネコと人と海鳥がこれからも共に暮らしていける島づくりがこの取り組みの目指すところだと思っています。新たにネズミの問題も出てきましたが安易にネコと関連づけずにそれぞれ問題を分けて解決に向かう事が大切だと感じています。天売ネコの取り組みが上手く行けば、他の地域にあるネコ問題の解決にもきっと繋がると思います。これからも天売島に住む私たちがしっかりと、そして柔軟にこの取り組みに関わっていきたいと思います。

ノラネコの減少と ドブネズミの被害拡大の 因果関係は？

ノラネコの減少とドブネズミの被害拡大の因果関係ははっきりとはわかっていません。ノラネコが減少したことでドブネズミの行動範囲が拡大することも考えられる一方で、ノラネコが大型のドブネズミを捕食することは難しい他、ネズミの数はその年の気象条件などにより大きく変動するなど、因果関係を明確にするのは困難です。

- ノラネコとドブネズミの因果関係ははっきりとしていない
- ノラネコとドブネズミの対策は別々に考えながら、どちらも積極的に行っていく必要がある

ただし、因果関係がはっきりしないとしても、公衆衛生上や海鳥保護のためにも積極的なドブネズミ対策を島民と行政が協力して行っていかなければなりません。また、ノラネコによってドブネズミを減らすという考え方は、①因果関係がはっきりしておらず、ノラネコがいればドブネズミが減るとは言い切れない②ノラネコを放置すれば数が増加し、猫による被害が再び拡大する③冬の風雪はノラネコにとっても厳しい環境であり、早く死んだり病気になるなど、猫にとっても幸せではない…などの理由から適切な方法ではないと考えます。そのため、ノラネコ対策とドブネズミ対策は別々に考えながら、それぞれ取り組んでいく必要があります。

天売島のネコ問題 <http://www.teuri-neko.net> facebook <https://www.facebook.com/teuri.neko>

【編集後記】
帯広市のNPOで天売猫をお預かりしている関係で、「天売猫だより」のデザイン制作のご縁をいただいています。9月中旬に天売島を訪問し、船酔いと格闘しながら(笑) 島の皆さんのドブネズミ捕獲のご苦労を目の当たりにしました。島訪問は2回目ですが、次回こそ海鳥の姿を拝みたいと祈りつつ、ドブネズミがいない穏やかな島になることを願っています。(芽室町 NPO猫たちを守る十勝Wishの会 青砥美穂子)

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
構成団体：
羽幌町役場 町民課
北海道 環境生活部環境局生物多様性保全課
環境省 羽幌自然保護官事務所
公益社団法人 北海道獣医師会
北海道DDぶつnet
協力 / 環境省北海道環境パートナーシップオフィス

ドブネズミってどんな生きもの??



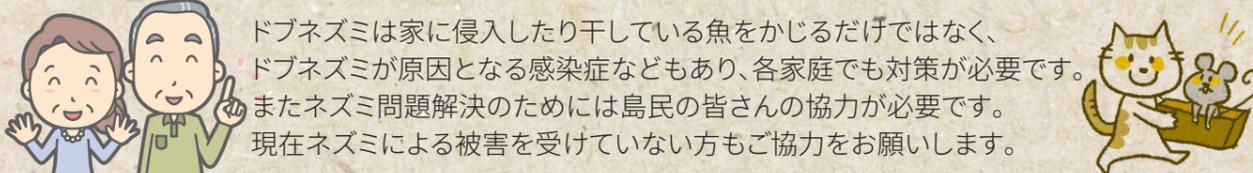
- 繁殖: 生まれて8~12週で出産が可能。妊娠期間は21日、1回の出産で8~9匹を産む。
- 寿命: 2年程度
- 分布: 中央アジアから世界中に広がった(天売島にもともいたネズミではない)。
- 特徴:
- お風呂場や配水管から出没したり、下水溝で見かけるなど、水があるところが好き。
- 子猫ぐらいの大きさになる。
- 土に穴を掘って巣にしている。
- カゴで捕獲するとキーキー騒ぐ。
- 雑食性でなんでも食べるが、どちらかと言うと肉食。
- 寒さに強く、性格は荒い。

天売島には、**エゾヤチネズミ**もいます!



- 写真提供/河原淳氏
- ドブネズミとの違い**
- 体や尾っぽが小さい。(体重: 27~50g程度)
 - 主に草食性で種子や樹皮などを食べる。
 - 天売島に元々すんでいる。

ドブネズミの被害を防ぐためにご協力をお願いします



ドブネズミは家に侵入したり干している魚をかじるだけではなく、ドブネズミが原因となる感染症などもあり、各家庭でも対策が必要です。またネズミ問題解決のためには島民の皆さんの協力が必要です。現在ネズミによる被害を受けていない方もご協力をお願いします。

ネズミの被害を防ぐためには以下を組み合わせる事が効果的です

1 ネズミが侵入する原因を無くす

ネズミの害を防ぐためにはまずネズミが住みづらい環境を作ることが大切です。

●エサを与えない

食品は必ず容器や戸棚に入れ、ゴミも蓋のついた容器に入れましょう。ペットフードや仏壇の生け花などもネズミの食料となりますので注意が必要です。

●通路をふさぐ

指3本が入る隙間があればネズミは出入りできてしまいます。通路となる隙間や排水溝等は金たわしや亀甲金網などで塞いでネズミが入れないようにしましょう。



ドブネズミの通路をふさぐ対策の一例



金たわしの例。

亀甲金網の例。

亀甲金網は、ステンレスなどでできた柔らかい金網で、隙間を埋めるのに最適です。ホームセンターなどで、1m当たり400円程度で販売されています。

2 殺鼠剤を使う

すでに家などに侵入したネズミに対しては、殺鼠剤でネズミを駆除することが効果的です。ネズミは警戒心が強く、置けばすぐ食べてくれるというものではありません。3日間は同じ場所に配置し、その間に食べなければ配置場所を変えるなど工夫が必要です。また、殺鼠剤にはいくつか種類がありますが、現在市販されている殺鼠剤は、「継続して食べることで効果が表れるもの」がほとんどです。そのため、殺鼠剤を一度食べただけで死ぬことはありませんので、毎日確認をしてネズミが食べなくなるまで設置し続けて下さい。



※ワルファリンなどを成分とし、ネズミの血液を固まらせないようにして殺します。
 ※ネズミは良く食べますが、3日~5日程与え続けなければ効果がありません。
 ※使用方法をよく読んで、使用して下さい。

殺鼠剤の正しい使い方



3 罠を使って捕獲する

罠による捕獲には、粘着シートや捕獲カゴなどがあります。罠を設置する際は、壁沿いなどネズミの通りそうな場所に設置します。また、罠にかかったネズミは長期間放置せず、すぐに回収するようにしましょう(他のネズミに罠を覚えられないため)。

●粘着シートによる方法

粘着シートは一枚だけではなく、なるべく多く隙間なく設置するのがコツです。

●捕獲カゴによる方法

エサはどんなものでもかまいませんが、腐りやすいものは避けましょう。
 ※ネズミも腐ったものやカビが生えたものは食べません。

粘着トラップ設置の一例



捕獲カゴ設置例



捕獲カゴの貸し出し

天売支所へお越しのうえ
お受け取りください。

昨年に引き続き役場で捕獲カゴを貸し出していますので、ご自宅や倉庫などで捕獲をお願いします。
 ※町や環境省などで空き家周辺や公共施設敷地等にカゴを配置し捕獲します。

